



東京アマデウス合唱団

第34回定期演奏会

Thomaskantoren
vor
Johann Sebastian Bach

Tokyo Amadeus Chorus

同仁キリスト教会礼拝堂

2015年11月3日



本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。

今回は、J.S.バッハの曲に、バッハより前の16~17世紀にトーマスカントルであった、3人の曲を加えて演奏することと致しました。

お忙しい中をこの合唱団のためにわざわざご来場頂き、ご支援を下さる皆様方に励まされて、この演奏会を開催できることを大変嬉しく思っております。

300年以上前の名曲の美しい旋律と響きを、皆様にお届けすることが出来ましたら幸いです。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 誓

PROGRAM

Thomaskantoren vor J. S. Bach

Sethus Calvisius(1556~1615)

Thomaskantor von 1594~1615

Das alte Jahr vergangen ist.....(SATB/SATB)

古き年は過ぎ去り

Zion spricht:Der Herr hat mich verlassen.....(SATB/SATB)

シオンは言った、主は私を見捨てられたと

Singet dem Herrn ein neues Lied.....(SATB/SATB)

主に向かいて歌え、新しき歌を

Johann Hermann Schein(1586~1630)

Thomaskantor von 1616~1630

Ich lasse dich nicht(SSATB)

我は汝を離さじ

Was betrübst du dich,meine Seele.....(SSATB)

何を悲しむや、我が魂よ

O,Herr Jesu Christe.....(SSATB)

おお、主イエス・キリスト

休 憩

Tobias Michael(1592~1657)

Thomaskantor von 1631~1657

Unsre Trübsal, die zeitlich und leichte ist.....(SSATB)

我々のはかなく軽い苦難は

Der Herr ist mein Hirte.....(SSATB)

主は我が牧者

Aus der Tiefe.....(SATTB)

深き淵より

Johann Sebastian Bach(1685~1750)

Thomaskantor von 1723~1750

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn (BWV Anh.159).....

我は汝を離さじ、我を祝福し給わずば

.....(SATB/SATB)

Der Geist hilft unser Schwachheit auf(BWV226)(SATB/SATB)

聖霊は我らの弱きを助け給う

(選曲 辻村順子)

PROFILE

指 揮



水野克彦

東京藝術大学卒業。ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。

オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。藝大バッハ・カンタータクラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。日本オルガニスト協会会員。

チェロ



伊藤恵以子

東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。

チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。

パリ・エコールノルマルで学ぶ。

第48回日本音楽コンクール入選。

Ensemble Delice のメンバー。

訳書に「ポール・トルトゥリエ、チェリストの自画像」「メニューインとの対話」等がある。

オルガン



平野智美

東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。

文化庁特別派遣芸術家在外研修員として

イギリスにて研鑽を積む。

チェンバロを鈴木雅明、N・パール、

オルガンを今井奈緒子の各氏に師事。

第13回国際古楽コンクール<山梨>

チェンバロ部門・最高位受賞。

千葉経済大学短期大学部講師。

今年の東京アマデウス合唱団定期演奏会は „Thomaskantoren vor Johann Sebastian Bach“ と題されています。意味は「ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ以前のトーマスカントル達」とでもなりませうか。彼等、トーマスカントル達が残してくれた作品を歌ってみようというのが看板の趣旨のようです。

そもそも音楽などというものは、そのまま聞いて好きなように感じてもらえれば、それでよいわけです。頭の中に知識を溜め込むほどに音楽が理解できるようになると思うのは唯の錯覚であって、そのような作業は芸術とは何の関係もありません。とは言え「音楽？ 普通に好きだよ。知り合いがこの合唱団で歌っていてね、今日は誘われて来たのだよ」とおっしゃる方の多くが、トーマスカントルって何だろうと疑問に思われるのも、これまた当然です。ですから、あまりうっとうしくない程度に解説のようなものを書いておきましょう。実は、当合唱団は 2011 年に「歴代トーマスカントルのバッハ以外の名曲集」とタイトルを掲げて定期演奏会をおこないました。今回の演奏会とよく似た題ですね。ですから、その時に書いた解説も再利用させてもらっています。

まず「トーマスカントル」について。これは「トーマス」と「カントル」の二つに分けられます。「トーマス」はドイツ・ライプツィヒ市にある「トーマス教会」のこと。皆さん、ドイツの都市というところを思い浮かべますか。ベルリン、フランクフルト、ミュンヘン…あたりでしょうか、ライプツィヒは、これらの都市に比べると日本での知名度が少々劣るかもしれませんがね。しかしバッハの音楽を愛する人にとって、ライプツィヒはまさに聖地。バッハは人生の約半分をトーマス教会カントルとして過ごし、数々の名曲を書き上げ、そしてこの地で亡くなったのですから。ライプツィヒでは 1904 年から毎年、キリスト昇天祭が巡ってくる 6 月頃に「バッハ祭」が催されてきました。そして約 10 日間のその開催期間中には朝から晩までバッハの作品が演奏され、総公演数は 100 ともいわれています（と、なんと毎年バッハ祭に詣でている当合唱団のメンバーから聞きました）。ところで今年はライプツィヒの名称が歴史資料に初めて現れてから 1000 年目になるので、6 月に千年史記念祭があったのですって！（これも、くだんのメンバーから教えてもらいました）

では次に「カントル」ですが、これは、一言で説明すれば聖歌隊指揮者のことで、ラテン語の „cantor“ = 「カントル（歌手）」に由来しています。昔から教会は礼拝のために聖歌隊を組織してきました。カントルはその指揮者であり、隊員である少年達を教育する教師でもあります。ドイツ各地にある教会のカントル職は古くから重要な地位であり、なかでもライプツィヒ・トーマス教会のカントル職は一二を争う程の高い地位でした。ですから昔から優秀な音楽家はその座を占めてきて、それは現在のドイツでも変わりません。そして中でも古今最高のトーマスカントルとして讃えられるのがヨーハン・ゼバスティアン・バッハです。今日はバッハと、彼以前の大トーマスカントル 3 人が残してくれた作品を取り上げます。

Sethus Calvisius (1556 – 1615)

ゼトウス・カルヴィーズィウス

トーマスカントル在職期間 1594 – 1615

トーマスカントルの地位を世に知らしめた大音楽家にして大知識人。かの有名な天文学者ケプラーや大数学者ライプニッツに賞賛されるほどの学者であり、自然科学の教授として大学に招聘されたがトーマス合唱団の指導に専念するためにそれを断ったそうである。

また彼は音楽理論書を著し、当時のさまざまなモテットを蒐集して自らも作曲した。それらのモテットは弟子であった „Erhard Bodenschatz“ = 「エアハルト・ボーデンシャッツ」が „Florilegium Portense“ = 「フローリレギウム・ポルテンセ (プフォルタ学校詞華集)」として出版した。この曲集はバッハの時代まで 100 年以上にわたってトーマス教会で使われたのである。今日のプログラムに取り上げた 3 曲もこの歌集に収録されている。

バッハにつながる著名なトーマスカントルの系列はカルヴィーズィウスから始まり、シャイン、トビーアス・ミヒヤエルと続くのだ。今年がカルヴィーズィウスの没後 400 年である。

Das alte Jahr vergangen ist

Das alte Jahr vergangen ist,
wir danken dir, Herr Jesu Christ,
dass du uns in so großer Gfah
bewahret hast viel Zeit und Jahr.
Wir bitten dich, ewigen Sohn
des Vaters in dem höchsten Thron,
du wollst dein arme Christenheit
bewahren ferner allezeit.

古い年が過ぎ去ったので、
私たちはあなたに感謝します、主イエス・キリスト様、
あなたが私たちをこんなにも大きな危険の中で
長い時と年、守ってくださったことを。
私たちはあなたに願います、永遠の御子、
至高の御座にいます父の御子に。
あなたが、あなたの全ての哀れなキリスト教徒を
なおも常に守ってくださるようにと。

(Johann Steuerlein = ヨーハン・シュトイヤーライン „Das alte Jahr vergangen ist“ = 「古い年が過ぎ去ったので」 1588

年 第1-2 節)

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen.

Zion spricht: Der Herr hat mich verlassen.
der Herr hat mein vergessen.
Kann auch ein leiblich Mutter ihres Kindleins
gänzlich vergessen,
dass sie sich nicht erbarme
über den Sohn ihres Leibes?
Und ob sie schon desselben würd' vergessen,
so will ich doch dein nimmermehr vergessen.

シオンは言う。「主は私をお見捨てになった」と。
「主は私のことをお忘れになった」と。
本当に、実の母が自分の子を
まったく忘れることができようか、
母親が、憐れみを
実の息子にかけないなどということ
たとえ母がすでに息子を忘れたとしても、
しかし、それでも私はお前を決して忘れない。

(旧約聖書 イザヤ書 49 章 14-15 節)

Singet dem Herrn ein neues Lied

Singet dem Herrn ein neues Lied,
singet dem Herren, alle Welt,
erzählet unter den Heiden seine Ehre,
unter allen Völkern seine Wunder,
denn der Herr ist groß und hoch zu loben,
wunderbarlich über alle Götter.
Ihr Völker, bringet her dem Herren Ehre und Macht!
Betet an den Herren im heiligen Schmuck:
es fürchte ihn alle Welt.

主に新しい歌を歌え、
主に歌え、世の全てよ、
異邦人のもとに彼の栄光を物語れ、
全ての民のもとに彼の奇跡を物語れ、
なぜなら主は大いに誉められるべきであり、
全ての神々を超えてすばらしいのだから。
お前たち民よ、主に栄光と権能をささげよ。
神聖な装いをまとわれる主に祈れ、
世の全てが彼を恐れるようにと。

(旧約聖書 詩編 96 1、3-4、7、9 節)

Johann Hermann Schein (1586 – 1630)

ヨーハン・ヘルマン・シャイン

トーマスカントル在職期間 1616 – 1630

ドレーズデンの宮廷楽長であった „Rogier Michael“ = 「ロギーア・ミヒヤエル」 に師事し、ザクセン選帝侯が設立した学校 „Schulpforta“ = 「シュール・プフォルタ」 — エアハルト・ボーデンシャッツが「フローリレギウム・ポルテンセ (プフォルタ学校詞華集)」の書名とした学校 — で学んだ。更にライプツィヒ大学で一般教養と法学を学んだ後、カルヴィーズィウスの後任としてトーマスカントルになったが、病弱であったシャインは 46 歳で亡くなった。しかし今日、彼は同時代人のシュッツ、シャイトとともにドイツ・ルター派教会音楽「三大 Sch」の一人として賞賛されている。

今日演奏する 3 曲は、宗教モテット集 „Israelis Brunnlein“ = 「イスラエルの泉 (1623 年)」に収録されている。「イスラエルの泉」は、モテット集 „Cymbalum Sionium“ = 「シオンのシンバル (1615 年)」や „Opella nova I, II“ = 「オペラ・ノーヴァ (教会コンツェルト集) 作品 I, II (1618 年と 1626 年)」とともに彼の代表的な作品である。

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn.

Ich lasse dich nicht,
du segnest mich denn.

私はあなたを離しません、
あなたが私を祝福してくださるなければ。

(旧約聖書 創世記 32 章 27b 節)

Denn du allein, Herr,
hilfst mir,
dass ich sicher wohne.

なぜならあなただけが、主よ、
私を助けてくださるからです、
私が安らかに暮らせるようにと。

(旧約聖書 詩編 4 9b 節)

Was betrübst du dich, meine Seele

Was betrübst du dich, meine Seele
Und bist so unruhig in mir?
Harre auf Gott,
denn ich werde ihm noch danken,
dass er meines Angesichtes Hilfe
und mein Gott ist.

何をお前は悲しむのか、私の魂よ、
そして何をそんなに私の中で動揺しているのか。
神を待ち焦がれよ。
なぜなら私は、なおも彼に感謝を捧げるであろうから。
神が、御顔による私の助けであり、
私の神であられることに。

(旧約聖書 詩編 42 12 節、詩編 43 5 節)

O, Herr Jesu Christe, doch nicht vorübergeh

O, Herr Jesu Christe,
doch nicht vorübergeh,
bleib mit dein Wort an diesem Ort.
Dein heilge Sakrament
erhalt an diesem End,
sonst sein wir wie die Schaf verirrt.
Ach, weid uns selbst,
du guter Hirt.

おお、主イエス・キリスト様、
お願いですからお見過ごしにならないでください、
あなたの御言葉と共にこの場に留まってください。
あなたの聖なる秘蹟が
最後に離れてしまわないでください、
さもないと私達は羊のように道に迷ってしまいます。
ああ、おんみずから私達を養い導いてください。
あなた、良き羊飼いや。

(J.H. Schein 自身による歌詞)

Tobias Michael (1592 – 1657)

トビーアス・ミヒャエル

トーマスカントル在職期間 1631 – 1657

トビーアス・ミヒャエルもまたロギーア・ミヒャエルのもとで音楽を学んだ。実は、ロギーアはトビーアスの父である。シャイン同様、トビーアスも更なる専門教育をシュール・プフォルタで受けた。そしてヴィッテンベルク大学とイエーナ大学で神学と法学も学んだ後に „Sondershausen“ = 「ゾンダースハウゼン」という町の教会で楽長の地位を手に入れた。しかしそれも束の間、教会が火事で焼けて職を失ってしまったのである。仕方なく数年間は宮廷官房官吏として働いたが、その後、シャインの後任としてトーマスカントルに就任することができた。しかし折しも三十年戦争のさなかに遭ってトーマス学校が荒廃したために、トビーアスは宗教改革以来もっとも困難な日々を強いられたカントルとなった。彼の作品は、何かの機会に作曲を依頼された若干の音楽を除いて、2部からなる宗教曲集 „Musikalische Seelenlust“ = 「音楽による魂の愉悦」のみが伝わっている。今日のプログラムもその中の3曲である。

Unsre Trübsal, die zeitlich und leichte ist

Unsre Trübsal, die zeitlich und leichte ist,
schaffet eine ewige und über alle Maßen
wichtige Herrlichkeit uns,
die wir nicht sehen auf das Sichtbare,
sondern auf das Unsichtbare;
denn was sichtbar ist, das ist zeitlich;
was aber unsichtbar ist, das ist ewig.

私達の苦難、それはひとときで軽いものでありますが、
永遠の、そして大いに
重みのある光栄を私達に生み出します。
私達はその光栄を見えるものの上ではなく、
見えないものの上に認めます。
なぜなら、見えるものは儚いが
しかし見えないものは永遠だからです。

(新約聖書 コリントの使徒への手紙二 4章 17-18節)

Der Herr ist mein Hirte

Der Herr ist mein Hirte,
mir wird nichts mangeln.
Er weidet mich auf einer grünen Aue
und führet mich zum frischen Wasser.
Er erquicket meine Seele.
Er führte mich auf rechter Straße
um seines Namens willen.
Und ob ich schon wandert im finstern Tal,
fürchte ich doch kein Unglück,
denn du bist bei mir.
Dein Stecken und dein Stab trösten mich.

主は私の牧者です、
私には何も欠けることはありません。
主は私を緑の草地でお飼いにし、
そして私をきれいな水へ導いてくださる。
主は私の魂を元気づけてくださる。
主は私を正しい道へ導いてくださる、
ご自分の御名のゆえに。
たとえ私が既に暗い谷を流浪しているとしても、
しかし私は災厄を恐れませんが、
なぜなら、あなたが私の傍にいてくださるからです。
あなたの鞭と杖は私を慰めてくださいます。

(旧約聖書 詩編 23 1-4節)

Aus der Tiefe rufe ich

Aus der Tiefe rufe ich,
Herr, zu dir.
Herr, höre meine Stimme.
Lass deine Ohren merken
auf die Stimme meines Flehens.
So du willst, Herr, Sünden zurechnen,
Herr, wer wird bestehen?
Denn bei dir ist die Vergebung,
dass man dich fürchte.

深い淵から私は呼びわります、
主よ、あなたに。
主よ、私の声を聞いてください。
あなたの両耳の注意を向けてください、
私の懇願の声に。
もしあなたが、主よ、罪を数えになるおつもりならば、
主よ、誰が存在しえるでしょうか。
それゆえ、あなたのところに罪の赦しがあり、
それであなたは畏敬されるのです。

(旧約聖書 詩編 130 1-4節)

Johann Sebastian Bach (1685 – 1750)

ヨーハン・ゼバスティアン・バッハ

トーマスカントル在職期間 1723 – 1750

さて、いよいよバッハである。バッハの主要な宗教作品は言うまでもなく 200 曲にもものぼる教会カンタータだ。毎日曜日の礼拝のためにカンタータを作曲して、ライプツィヒのトーマス教会とニコライ教会で演奏する。それがトーマスカントルの責務であった。しかし礼拝以外にも音楽を必要とする行事がある。冠婚葬祭の類いだ。モテットはそのような機会に提供される合唱曲である。

バッハのモテットは現在 6 曲ある。現在と断ったのは、過去には他人の作品が誤ってバッハ作とされて、もっと多くを数えていたからだ。その後、研究が進んで真作が 6 曲に絞られたのだが、それでも未だに作曲者がバッハか他人か判然としない曲も残っているのである。BWV Anh. 159 もそんな曲のひとつ。ただしこの曲は疑いの方向が逆で、19 世紀には他人の作とされていたのが近年はバッハの真作との見解が優勢になっている。それでこの曲のバッハ作品番号には „Anh.“ = 「付録」と但し書きがあるのである。

それに対して BWV 226 は正真正銘バッハの作品だ。何せバッハの自筆譜面と自筆メモが残されているので疑いようがない。そのメモには「トーマス学校校長ヨーハン・ハインリヒ・エルネスティの埋葬式に」と書いてある。エルネスティは 1729 年 10 月 16 日に死去しているので、作曲されたのはその直後だということも判る。

さて、この曲をお聞きになって思われるかもしれない「なんて明るく賑やかな曲調だろう。これが本当に御葬式の曲？」と。いやあ、私も同感です。我々の身近な御葬式でこの曲が流れたら、たぶん皆びっくりします。ひんしゆくを買うような気がします。しかしバッハの頃の人々にとっては、この曲調がピッタリだったのでしょね。私は思います。文化というものは努力して理解に務めなければダメだ。安易な理解では異文化が分からない。日本の心と外国の心は、お互いに深く理解しようとして学び合わない限り、誤解とすれ違いで終わるでしょう。西洋音楽の場合、鍵はキリスト教です。なにもキリスト教の信仰を持つ必要はありませんが、少なくともキリスト教をよく知ることが西洋音楽を、ひいては西洋文化を理解する上で必須です。この曲の明るさは、神への信頼によって死をも乗り越えられる喜びを現しているのです。

Ich lasse dich nicht, du segnest mich denn BWV Anh. 159

Ich lasse dich nicht,
du segnest mich denn,
mein Jesu,
ich lasse dich nicht,
du segnest mich denn.

私はあなたを離しません、
あなたが私を祝福してくださらなければ。
私のイエス様、
私はあなたを離しません、
あなたが私を祝福してくださらなければ。

(旧約聖書 創世記 32 章 27b 節 ただし „mein Jesu,“ は自由な挿入句)

(Choral)

(コラール)

Weil du mein Gott und Vater bist,
dein Kind wirst du verlassen nicht,

あなたは私の神様、お父様であられるので、
あなたの子供をお見捨てにならないでしょう、

du väterliches Herz.
Ich bin ein armer Erdenkloß,
auf Erden weiß ich keinen Trost.

(Erasmus Alber=エラスムス・アルバー „Warum betrübst du dich, mein Herz“ = 「何故に悲しむのか、私の魂よ」

1557年 第3節

父の心をお持ちのあなたは、
私は哀れな土塊です。
この世では私は慰めを知らないのです。

Der Geist hilft unser Schwachheit auf BWV 226

Der Geist hilft unser Schwachheit auf,
denn wir wissen nicht,
was wir beten sollen, wie sichs gebühret;
sondern der Geist selbst
vertritt uns aufs beste
mit unaussprechlichem Seufzen.
Der aber die Herzen forschet,
der weiß, was des Geistes Sinn sei;
denn er vertritt die Heiligen
nach dem, das Gott gefället.

御霊は私達の弱さに助けの手を伸べてくださる。
なぜなら私たちは知らないのですから、
私たちがどんなことを祈ればふさわしいのかを。
そこで御霊は、みずから
私達をこの上なく良く執り成してしてくださる、
名状しがたい溜息と共に。
精神を探求されるお方は、
御霊の御意志が何かを知っておられます。
御霊は敬虔な者達を執り成してくださるからです、
神の御旨にしたがって。

(新約聖書 ローマの信徒への手紙8章26-27節)

(Choral)

Du heilige Brunst, süßer Trost,
nun hilf uns, fröhlich und getrost
in deinem Dienst beständig bleiben,
die Trübsal uns nicht abtreiben.
O Herr; durch dein Kraft uns bereit
und stärk des Fleisches Blödigkeit,
dass wir hie ritterlich ringen,
durch Tod und Leben zu dir dringen.
Halleluja, halleluja.

(コラール)

あなた、聖なる情熱、甘い慰め、
今こそ私達を助けてください。喜ばしく安らかに
あなたの御援助の内に留まって、
苦難が私達を押し流さないように。
おお主よ、あなたの御力によって私達を整え、
そして肉体の心細さを強めてください。
私たちがここで勇敢に戦い、
死と生を通してあなたへ達するために。
ハレルヤ、ハレルヤ。

(Martin Luther=マルティン・ルター „Komm, Heiliger geist, Herre Gott“ = 「来れ、聖霊にして主なる神よ」

1524年 第3節

東京アマデウス合唱団のご案内 (2015.11 現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルを一緒に楽しみたい方や興味のある方は、下記をご参照下さい。

(事務局 大久保ルミ子)

来年の演奏会「第 35 回定期演奏会」

「日 時」 2016年11月(予定)
「会 場」 同仁キリスト教会礼拝堂(予定)
「演奏曲目」 ドイツバロックのタベ(ブクステフーデ、ほか)

<http://homepage2.nifty.com/Amadeus/>

見学ご希望の方へ(必ず、上記へメール又は下記へ電話でご連絡の上、お出で下さい)

お問い合わせ先 辻村 順子 048-476-4056
大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日 毎週水曜日 午後6時半～9時
練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園 2F
指導者 水野克彦
会費 月額 5千円(学生半額)
入会金 1千円

この他に、楽譜代・定演参加費がかかります
(家族割り・学割あり)

(練習場所への交通案内)右図参照

- * 地下鉄有楽町線
「護国寺」駅下車 6番出口から徒歩5分
- * JR山手線「目白」駅よりバスで
「目白台3丁目」下車 徒歩3分



* 地下鉄有楽町線「護国寺」下車 6番出口から徒歩5分
* JR山手線「目白」駅よりバスで「目白台3丁目」下車 徒歩3分

演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮	会場
第1回	1981.02	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	寺村博司	石橋メモリアル
第2回	1981.11	ヘンデル(メサイア)	渡辺央己	中央会館
第3回	1982.11	フォーレ(レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュツツ	鈴木 優	東京カテドラル
第4回	1983.09	モーツァルト(戴冠式ミサ)、ヴィクトリア	黒岩英臣	東京カテドラル
第5回	1984.09	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	黒岩英臣	東京カテドラル
第6回	1985.10	J.S.バッハ(カンタータ106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉	石橋メモリアル
第7回	1986.10	モーツァルト(グローセミサ)、ヴィクトリア	鈴木 優	練馬文化センター
第8回	1987.10	シュツツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエン)、ハスラー(ミサ・セクンダ)	鈴木 優	石橋メモリアル
第9回	1988.12	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、J.ハイドン	齋藤明生	駒場エミナース
第10回	1989.11	モーツァルト(レクイエム<バイヤー版>)	齋藤明生	練馬文化センター
秋の演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ(パンジェ・リングワ)、ハスラー	齋藤明生	石橋メモリアル
第11回	1991.02	モーツァルト(リタニア 243)、J.M.ハイドン(ヴェスペレ)	齋藤明生	石橋メモリアル
第12回	1991.11	モーツァルト(ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)	齋藤明生	川口ロリアホール
第13回	1992.11	シャルパンティエ(真神のミサ)、シュツツ、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第14回	1993.11	モーツァルト(ミサ・プレヴィス 275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
15 周年記念	1994.11	モーツァルト(レクイエム<ドルース版>) 渋谷混声と合同	齋藤明生	新宿文化センター
第15回	1995.10	J.S.バッハ(カンタータ 182)、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第16回	1996.11	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
第17回	1997.10	モーツァルト(ミサ・ソレムニス 337、テデウム・ラウドムス)	齋藤明生	石橋メモリアル
第18回	1998.10	J.S.バッハ(カンタータ 61・196)、D.スカラルラッティ	齋藤明生	石橋メモリアル
第19回	1999.10	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン、ブルックナー	齋藤明生	石橋メモリアル
犠牲者追悼	2000.07	ハスラー、メンデルスゾーン、ホミリウス	水野克彦	同仁キリスト教会
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(アルカデル、ジョスカン・デ・プレ、ヴィクトリア、ハイドン)	水野克彦	旧上野奏楽堂
第20回	2001.11	モーツァルト(トリニターティス・ミサ)、J.ハイドン	水野克彦	石橋メモリアル
第21回	2002.10	ドイツ・バロック(J.C.F.バッハ、シュツツ、ブクステフーデ)	水野克彦	所沢文化センター
第22回	2003.11	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦	ルーテル市谷センター
第23回	2004.10	D.スカラルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦	カトリック麻生教会
第24回	2005.11	シュツツ、テレマン、ブクステフーデ(カンタータ)	水野克彦	カトリック麻生教会
第25回	2006.11	レヒナー(ヨハネ受難曲)、ゼレンカ(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻生教会
第26回	2007.10	ブクステフーデ(カンタータ 6 曲)	水野克彦	カトリック麻生教会
第27回	2008.11	5人のヨーハン(J.S.バッハとその親戚 4人)	水野克彦	カトリック麻生教会
第28回	2009.10	メンデルスゾーン、J.ハイドン(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻生教会
第29回	2010.11	シュツツ、シャイン、シャイト、ブクステフーデ、ブルーンズ	水野克彦	同仁キリスト教会
第30回	2011.10	歴代「トーマス・カントル」のバッハ以外の名曲集	水野克彦	日暮里サニーホール
第31回	2012.10	シュツツ、ブクステフーデ(メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第32回	2013.12	16~17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同仁キリスト教会
第33回	2014.11	シュツツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエンほか)	水野克彦	同仁キリスト教会
第34回	2015.11	カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒヤエル、J.S.バッハ	水野克彦	同仁キリスト教会
第35回	2016.11	ドイツバロックの夕べ(ブクステフーデ、ほか)	水野克彦	同仁キリスト教会

東京アマデウス合唱団

- ソプラノⅠ 繁松 緑・辻村順子・中西亜紀子
ソプラノⅡ 平石幸枝
アルトⅠ 大友美佐・堀江和子
アルトⅡ 大久保ルミ子・大庭裕子
テノールⅠ 大庭敏彦・小沢 仁
テノールⅡ 翁長良二
バスⅠ 中西宏年
バスⅡ 柿沼 哲・山村道男



同仁キリスト教会礼拝堂(2014.11.03)

Thomaskantor



Sethus Calvisius
(1556~1615)



Johann Hermann Schein
(1586~1630)



Tobias Michael
(1592~1657)



Johann Sebastian Bach
(1685~1750)



Thomaskirche 1723

Tokyo Amadeus Chorus

Since 1980